

【豊見城】コミュニティー放送局FMとよみ（安慶名雅明社長、83.2%）に昨年11月に入社した瀬長絵梨子さん（36）がこのほど、アマチュア無線3級に合格した。ラジオとアマチュア無線の周波数は異なるが「この仕事をするからには、電波の基礎知識

を持ってほしい」という安慶名社長の思いを受け、子育てと仕事の合間を縫って勉強し、見事合格した。瀬長さんは勉強を始めて半年のスピード合格に「家族や先輩方のおかげ。次は2級も目指す」と述べ、新たな目標に向かっていく。

入社半年 アマ無線3級合格

子育て両立「次は2級」

FMとよみ 災害時に備え取得

FMとよみは防災情報の発信にも力を入れている。無線3級を持っていれば、

瀬長絵梨子さん（36）



入社半年でアマチュア無線3級に合格したFMとよみの瀬長絵梨子さん＝豊見城市豊見城のFMとよみ

ラジオが使えない災害時でも無線で情報のやりとりができる」と指摘。心強い瀬長さんの姿にはほほ笑む。

大阪府出身の瀬長さんは、高校の修学旅行で訪れた沖縄で沖縄民謡に魅了された。「お土産に民謡のカセットテープだけを買って帰り、家族に怒られた」と笑う。

大学卒業後に沖縄に移住。民謡を習い、国際通りの沖縄料理屋で舞台に立つようになった。

「子どもの頃からパソコンリテラシーに憧れ、ラジオごっこもしていた」。夢が実現したのは3年前。FMとよみで週1回の民謡番組を持った。民謡の知識と、リスナーに親しまれる語り口調が認められて昨年、パ

ートとして採用された。その頃から周囲の人にアマチュア無線の受験を勧められたが「『何だそれ』という感じだった」。

背中を押したのは、業務用の第2級陸上無線技術士の受験勉強に励む安慶名社長の姿だった。「私も頑張らない」と、3人の子どもの就寝後や早朝に勉強時間を確保した。

現在はパートだが、安慶名社長は目標に向かってまい進する瀬長さんに「いずれは正社員になってもっと活躍してほしい」と期待を寄せる。

毎週水曜正午の番組「エリーのアサバン島唄ラジオ」も「只今修行中」では、得意の民謡も披露する瀬長さん。これまでの経験や好きなラジオと民謡が、職場で存分に生かされている。

瀬長さんは「まだ分からないことも多いが、もっと勉強して技術を学びたい」と満面の笑みを浮かべた。

（半濱わか）